

評価結果より（児童アンケート結果も含めて、昨年度と比較しながらの考察）

児童のアンケート18項目の内、昨年度と比較して、10項目のポイントが上がりました。

中でも「何でも相談できる先生や友達がいる」の項目では「そう思う」と強い肯定をした児童が10%以上増えました。しかし、自分はいじめられていると感じている児童、また自分のまわりにいじめがあると感じている児童も昨年より減少したものの、存在しています。そのように感じている児童が一人もいないようにしていかななくてはなりません。コロナ禍の中で不自由を強いられた約2年間に児童が受けたストレスは非常に大きいと思われます。そのようなストレスが子どもたちの仲間関係や成長に影響がおよばないように教育活動を工夫・改善していかなければならないと実感しています。

「学校生活は楽しい」「授業はわかりやすく楽しい」の項目では5%程度ですが肯定的な意見が増加しました。「学校が楽しい」の項目では「そう思わない」と答えた児童はおらず、ほぼ100%に近い児童が楽しく学校生活を送っていると答えました。「授業はわかりやすく楽しい」の項目では95%の児童が肯定的に答えました。「わかりやすく楽しい」が確かな学力として身につくこと、さらに児童の学ぶ意欲が高まっていくことを期待しています。

「ゲームをしたり、テレビを見たりする時間は守られている」の項目においてはわずかですが守られていない児童が増えています。コロナ禍の中での生活で、自宅で過ごすことが増えていると思います。どうしてもテレビを見たり、ゲームをする時間が増えてくるのは仕方のないことだと思います。その中で、「どういう時間を過ごしたらいいのか。」ということをお話でも話し合っていきたいと思っています。また、学校からタブレットを持って帰ることも増えてきますので、タブレットの適切な使い方についても繰り返し指導していきたいと思っています。

保護者のみなさまのアンケート結果を昨年と比較すると、「適切で有意義な行事ができていますか」「PTA活動が活発に行えていますか」の項目では10%程度の否定的な意見が増えました。今年度も、コロナ禍の中、児童が楽しみにしていた行事や活動、PTA活動もままならず、変更や延期・中止のお知らせばかりになりました。保護者のみなさまには大変なご苦労・ご心配をかけてしまいました。またそのことが児童の心にも「どうせできないだろう」というあきらめの感情を持たせてしまったことが何よりも苦しく感じています。来年度は、「どのように工夫すればできるか」を児童とともに考えていきたいと思っています。

このような厳しい意見が多い中、「お子さんは、元気なあいさつができていますか」「お子さんは、読書が好きですか」の項目では、昨年度より肯定的な意見が5%程度ですが増えています。学校では、その児童のがんばりをより一層伸ばしていきたいと考えています。

アンケートの結果を真摯に受け止め、より良き方向に向かって進んでいけるよう努力してまいりたいと思います。今後とも、ご理解・ご協力をよろしく願いたします。